



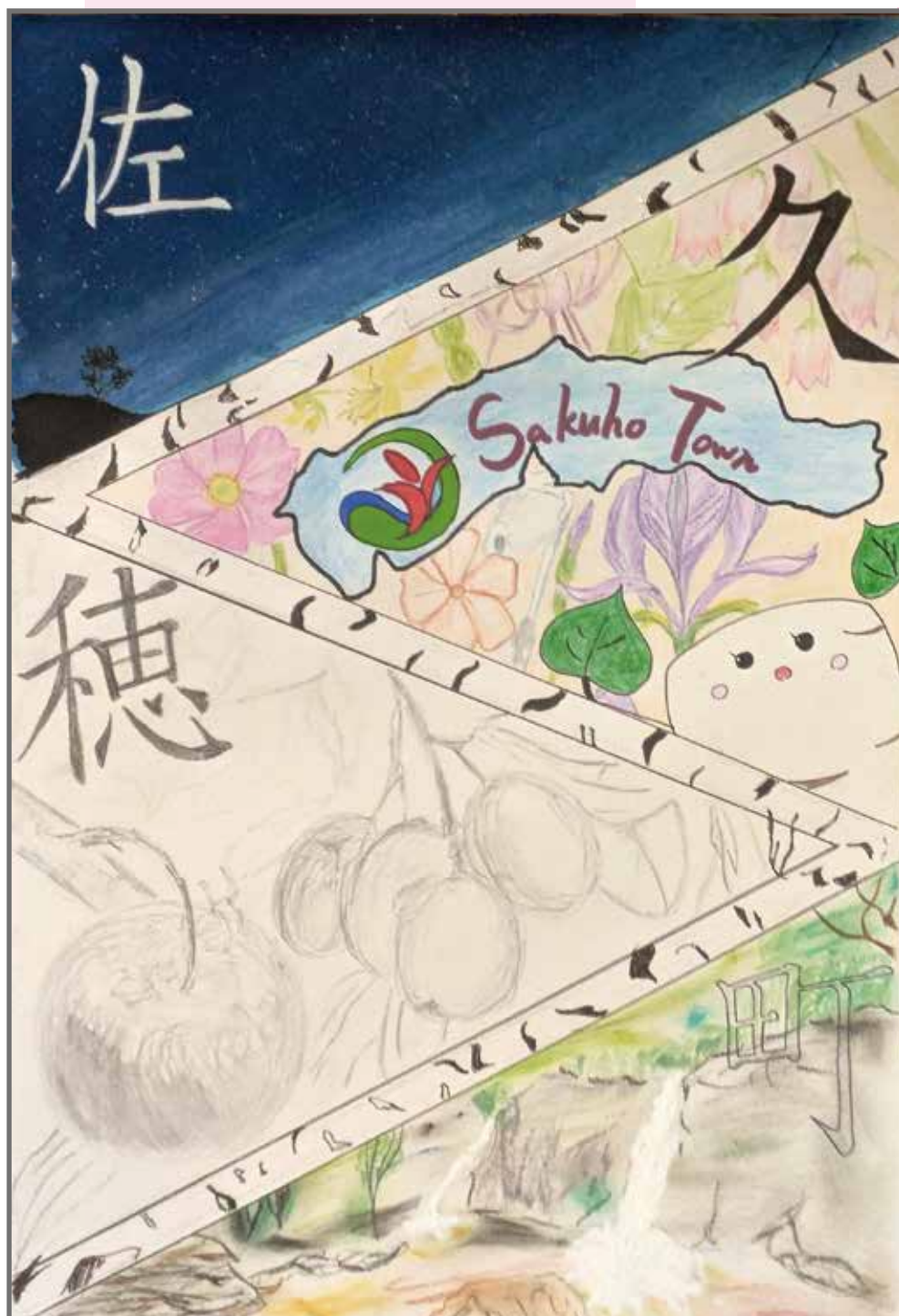
令和7年4月25日

第80号

さくほ

2025 ④

議会だより



令和6年度3月
佐久穂中学校9年生美術作品
「私の出身地はね」

こばやし あゆむ
小林 歩夢さん

(野沢北高等学校理数科1年)

佐久穂町の好きなところを、白樺を境界線にして描きました。中学の頃は、美術創作活動部だったので、それぞれのものを自分の持っている技術を全部出して表現したつもりです。特に同級生には、夜空のグラデーションが素敵だと言ってもらえました。

高校生になったら数学と班活動を充実させたいと思っています。班活動は、美術班にしようか、演劇班にしようか、それとも・・・とワクワクしています。これからも、この絵を描いたときと同じように、大好きな故郷である佐久穂町に、自然が美しい、災害のない穏やかな日が続くことを願っています。

3月定例会

令和7年度一般会計予算
..... P 3

一般質問 8名

千ヶ日向総合グラウンド付帯設備の改修は
産業としての農業。今後の町の考えは
他
..... P 4～9

発行：佐久穂町議会

議長：石井 正行

編集：議会広報特別委員会

〒384-0697

長野県南佐久郡

佐久穂町大字高野町569

TEL.0267-86-2556

印刷：キクハラインク有限公司

いいね
押してね

さくほ議会
Facebookもチェック
さくほ議会



令和7年度予算

骨格予算

一般会計

歳入・歳出

79億5000万円

前年対比 5.6%↓

各課の 注目事業

総合政策課

「ふるさと納税事業」
全面民間委託へ



健康福祉課

带状疱疹ワクチン
接種開始



こども課

「学校給食費」
小学校5円、中学校10円を値上げ
全額町費負担は継続



総務課

軽の電気自動車 1台購入
駐在所跡地等売却する
ための境界測量



住民税務課

「戸籍住民基本台帳」
戸籍法改正への対応

建設課

「荒廃農地造成事業」
柳沢・馬越・蛇石地区にて飼料用
作物と高原野菜栽培用に整備

産業振興課

4月13日に開催される
「ツール・ド・八ヶ岳」へ補助金



生涯学習課

茂来館
メリアホール修繕

特別会計

・ 町立千曲病院

収益的収入・支出	20億1110万円	3.9%↑
資本的収入	1億9662万円	4.4%↓
〃 支出	3億488万円	0.9%↓

・ 国民健康保険

12億6628万円 5.5%↓

・ 後期高齢者医療

1億8400万円 6.1%↑

・ 簡易水道事業

収益的収入・支出	1818万円	18.1%↓
資本的収入	160万円	同額
〃 支出	161万円	0.06%↑

・ 住宅改修資金等貸付事業

624万円 3.7%↓

・ 介護保険

15億500万円 1.4%↓

・ 農業集落排水事業

収益的収入・支出	1212万円	27.3%↓
資本的収入・支出	557万円	4.0%↓

・ 住宅地造成事業

3653万円 43.1%↑

・ 老人保健施設

4億2469万円 6.0%↑

経済対策支援金

住民税非課税世帯に3万円を給付する令和6年度佐久穂町物価高対策緊急支援給付金と、県が実施する経済対策支援金として住民税所得割非課税世帯に2万円を給付する佐久穂町県物価高特別対策支援金支給事業の2つの事業については、対象世帯へ関係書類を郵送しました。申請期限は4月末までとなっています。さらに2事業の対象世帯で、18歳までの子どもがいる世帯に対して、一人当たり2万円を子ども加算として支給します。

物価高騰対策臨時チケット2025

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている町民の皆様の生活を支援することを目的に、商品券を発行します。一人10,000円分のチケットを各家庭に順次郵送配布しました。町内の店舗、事業所、飲食店で利用できるもので、利用期間は5月31日までです。

中小企業振興資金 原油価格物価高騰対策資金

原油価格及び物価の高騰の影響により事業活動に影響を受け、事業資金を必要とする町内の中小企業者または小規模事業者の皆様を支援する目的から1月に新たな融資資金である原油価格物価高騰対策資金を創設し、金融機関と連携して融資を開始しています。

第35回ツール・ド・ハケ岳2025再開

新型コロナウイルスの影響により令和元年を最後に休止しておりました「ツール・ド・ハケ岳」を4月13日(日)に「第35回ツール・ド・ハケ岳2025」として6年ぶりに開催いたします。

会場周辺で午前8時から午後1時頃まで、通行制限を行います。

千曲病院の運営状況

全国の医療情勢は医師の働き方改革に基づく労働時間の制限、医薬品類の物価高騰、令和6年度の診療報酬改定等の影響により、多くの医療機関で収入不足が生じていると考えられます。そのため賞与等の減額が行われ、職員のストライキに至る病院も実際に現れています。

公立病院は人事院勧告に基づく大幅な人件費の増額が必要となり、財源となる収入増は病院にも見込めないことから、赤字決算も予想される状況にあります。千曲病院は、患者数は年々増加傾向にあるものの置かれた状況は変わらず、予算案はきわめて厳しい内容となっています。国主導による医療改革に、さらに当病院も踏み込まざるを得ない状況にあると認識しております。

令和7年 第2回(3月)佐久穂町議会定例会 採決結果一覧表

採決日令和7年3月19日

議 案	岡部尚樹	須田芳明	高見澤敏幸	竹内達朗	高見澤利博	佐々木信幸	西部元和	島崎規子	出浦修身	高橋康徳	高見澤研二	小宮山雅則	高見澤春野
陳情第1号 国保制度の改善を求める陳情書	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対。議長(石井正行)は採決に加わりません。これら以外は全員賛成で可決・採択となりました。

一般質問

3月定例会一般質問（令和7年3月13・14日）

定例会において、地方議員は自治体の施策に関し、状況や方針などについて、通告をした上で質問をすることができます。このページは各議員の一般質問の、質問と答弁のみの抜粋となります。詳細につきましては佐久穂町議会ホームページにある音声データをご確認ください。



掲げた公約はどれだけ進んだか
町長「何をもって実現できたかをはかることは難しいです。」
高見澤 春野 議員

老健施設経営の厳しい現状から民間委託や譲渡の考えは
町長「譲渡にしろ、委託にしろ、やめることはできない施設と考えます。」
小宮山 雅則 議員

コミュニティの課題は何か？
町長「いかに持続させ、時代に合わせて進化できるかと考えます。」
須田 芳明 議員

住宅政策をどう評価するか
町長「空き家対策では一定の評価を上げています。民間賃貸住宅建設補助は時間を要します。」
出浦 修身 議員

8年間の町政運営をどう評価するか
町長「様々取り組みましたが、終わりはありません。」
竹内 達朗 議員

次世代への農地継承を進めるには
町長「地域全体で担い手農家を支えています。」
佐々木 信幸 議員

産業としての農業今後の町の考えは
町長「自分は生きていないであろう未来のこの集落のことをぜひ考えて下さい。」
島崎 規子 議員

千ヶ日向総合グラウンド附帯設備の改修は
教育長「今後整備を進めていく計画となっています。」
高見澤 敏幸 議員

掲げた公約はどれだけ進んだか



町長 何をもって実現できたかをはかることは難しいです。

高見澤 春野

4年間の町政の検証と今後

問 掲げた公約、人づくり、まちづくり、ふるさとづくりはどれだけ進んだのか。

町長 人づくりは8項目、まちづくりは12項目、ふるさとづくりは8項目掲げました。公約に掲げた項目は何らかの着手をしようとしてきました。何をもって実現できたか、できなかったかをはかることは難しいと感じています。一番はコロナ禍ではあっても、リモート等の可能な手段を駆使しながら職員だけでなく住民の皆様のお力をお借りしながら事当たることができました。

公共交通・生活の足

問 運転免許を持たない子どもや高齢者、障がい者にとって公共交通は移動の自由の保障です。今後の需要を考えるとげんであるだけの運行では賄い切れないので新たな方法を考える必要があるのでは。

総合政策課長 交通体制はできていると考えていますが、今の制度の中では使えない方がいることがわかり、どうすればよいか検討しているところです。

問 地域公共交通計画の策定が努力義務とされたが、どのような動きをしているか。

総合政策課長 計画は検討しているところです。今のところつくるころまで決まっています。

障がい者のくらし

問 グループホーム増設の今後の計画が具体的にになっているのか。

健康福祉課長 令和6年度は全体会議と各部門の会議を合わせて6回の医福連絡会で検討を重ねています。グループホームの誘致についてはどこの事業所専門職の人手不足等の理由で新しい施設の運営には消極的です。

問 グループホームはどういう形がベストなのか真剣に考えて頂きたい。グループホーム「ほほえみ」の指定管理期間が終了したあとが心配されるがどのように考えているのか。

健康福祉課長 公募による募集をし、必要な準備・手順を踏み事業者を決めていく形になると考えています。

問 募集がまったくなかった場合のことは考えているのか。

健康福祉課長 今の段階では考えていません。

教育・子育て

問 不登校が増加傾向の中で中間教室のスタッフの状況はどうか。

教育長 令和5年度から1名増員し、2名体制で対応しています。多様な学びのシステム、居場所をつくることは大切なことと考えます。当町での今の取り組みを引き続き行っています。

老健施設経営の厳しい現状から民間委託や譲渡の考えは



町長 譲渡にしろ、委託にしろ、やめることはできない施設と考えます。

小宮山 雅則

老健施設の経営について

問 老健施設経営の厳しい現状をどう受け止めているのか。

町長 新型コロナウイルス感染症の蔓延以降利用率の低下が続く、慢性的な夜勤職員の不足から入所者の利用制限を余儀なくされ収益に大きく影響をしています。物価高騰、人件費高騰の中にあり、24時間365日体制を支える介護人材の確保が困難な状況にあり、現状では定員58名を50人に利用制限し運営しています。

問 民間委託や譲渡の考えは。

町長 老健施設は在宅復帰を支える中間施設であり、特養のような終の棲家ではありません。施設の必要性に鑑み近隣施設等の連携、外国人材活用の可能性を含め研究検討し改善に努めて参ります。職員には、こういった施設がある強みを将来にわたって残していく覚悟をぜひ持っていたくことを願っています。

農業と荒廃農地について

問 荒廃農地と遊休農地の推移状況と増加防止策は。

町長 遊休荒廃農地は、令和5年時点で745haであり、10年間で1.7倍に増えている状況です。荒廃化防止のため、中山間地域直接支払制度、多面的機能支払交付金など国、県、町の補助事業に基づく地域の共同作業により、地域の保全管理を促進し、営農継続の基盤確保を進めています。

健康管理事業について

問 健康管理が充実している町として、健康管理事業により力を入れるべきでは。

町長 国は昭和63年第二次国民健康づくり対策で、自分の健康は自分で守るという自覚を国民一人ひとりに促すと共に行政はそれを支援すべきとしました。当町でも総合健診の実施をはじめ、各種がん検診予防教室のほか、各種相談事業等により、住民一人ひとりが自身の健康状態を知り、健康管理や健康増進につなげられるよう取り組んで参ります。

国はさらなる農地の集積、荒廃化防止を図るため、本年3月までに全ての市町村に地域計画の策定を義務付けており、当町も3月末の策定期限に向け準備しています。

問 寂行く町にならないよう真剣に取り組むことを願うがどう考えているのか。

町長 中山間地域に位置する当町においては、効率的な耕作が難しい状況から、今後一定の荒廃化は避けられない状況です。

多種多様な農産物に恵まれる土地柄を生かし、農業に従事する皆様が生き生きと農業継続できるよう総合計画の施策の方向性を踏まえ支援して参ります。

コミュニティの課題は何か？



須田 芳明
すだ よしあき

町長 いかに持続させ、時代に合わせて進化できるかと考えます。

問 移住希望者に対してどのような成果を上げたかと考えるか。

町長 人口減少の中、移住者の受入れは重要な政策の一つであり、子供の声が集落にあることで、集落も明るくなりますし、もともと住んでいた人も元気になると思います。

総合政策課長 地域の行事に出るとか、おてんまをやるだとか、そういう中から自然に地域との

結びつきが生まれてくると思います。

問 経済の変化、環境の変化があるなか、町民の皆さんのためにどのような思いで政策を行ってきたか。若者が未来に希望を持って生活できる社会を築くべきではないか。

町長 外から来る人や次世代にとっても、財産となるよう、大切にしていけるとともに、人や文

化の交流によって、この地域が未来に向けて発展することによって自然環境の豊かさ、知性と調和した住環境、活力ある産業の創造により、そこに住む人々の心を豊かにし、子どもから高齢者まで、元気で笑顔で住民一人一人の顔が見え、ぬくもりを感じながら生活できるふるさとを目指すことを表明します。

問 町の農業振興の成果は何だと考えるか。

産業振興課長 町の特産品としてブルーンのブランド化事業を進めたことによって、県の生産振興作物に格上げされたというところが一つの成果かと思っています。

問 道の駅の成果と課題は。

町長 元請けそのものが地元業者に30億円で始めているというその時点で経済効果は築かれたと考えています。

現状は、運営事業者が町へ支払う純利益の10%については、開業年度と、翌年度は、契約当初から免除であり、現在は免除期間内で準備段階と考え、まだ1年経っていない、売るものがない、1番厳しい冬の段階で、収支に関する意見等に触れることは、運営事業者に対しての信頼関係も含めて、失礼だと考えます。課題については、協定に基づき実績報告、お客様や住民の皆様からの御意見、通年での営業をした結果等から具体的に納めてくると思っています。今年度の全事業が支払いまで完了し、全てが確定した後に、広報等でお知らせしたいと考えています。



生涯学習館茂来館ロビー

住宅政策をどう評価するか



出浦 修身
でいづみ おさみ

町長 空き家対策では一定の評価を上げています。民間賃貸住宅建設補助は時間を要します。

問 大日向小学校が開校され6年となるが、住宅不足は改善されていない。町でも幾多の住宅政策を実施してきたが、これまでの実績をどう評価するか。

町長 住宅政策を重要な課題と認識しています。雁明団地の販売も3区画販売でき、空き家対策は事業全体で113件、3500万円の実績と、一定の成果を上げています。一方、民間賃貸住宅建設補助事業は、実施までに時間がかかり、川久保地区で4棟が建設中です。

問 空き家対策でも令和5年度以降、解体や改修がなくなってきたり、何故原因と考えるか。

総合政策課長 様々な原因があり、一概にこれが原因だとは言えません。

問 小さい改修で貸せる物件がなくなり、賃貸には政策を強化する必要があると思うか。

総合政策課長 この事業は町単独の事業で、財源の手当が出来ないとなかなか難かしいと思います。

問 他町村の事例でも改修工事に100万円、購入と改修に150万円の事例もある。6月補正で思い切った強化を要請したい。町の稲作農業の継続と、果樹や花卉など特産品の生産振興をどう進めるか。

町長 町では優良農地が荒廃化する前に担い手農家に集約、集積する「地域計画」の策定を進めています。特産品振興策はブルーンをはじめ果樹のブランド化を進め、担い手確保に果樹農家研修制度を開始しました。花卉については、JAとも



連携しこれからも生産振興を検討します。
問 地域計画を早急に進めるに、複数の集落支援員任用等を行い「計画作成チーム」を作り、事業を進めては。
産業振興課長 集落支援員の任用もなかなか難しい現状ですが、新年度も予算を計上し事業を進めてゆきます。
問 町税が合併後20年殆ど横ばいで増えないが、これまでの創業支援や企業誘致策をどう評価しているか。
町長 平成29年からの創業実績は41件で、うち20件は町独自の政策で創業しています。企業誘致条例による誘致実績はありませんが、道の駅八千穂高原の開業も新たな雇用を創出しています。
問 コワーキングオフィス等、時代に合わせた企業誘致策の検討については。
産業振興課長 利用者のニーズがあるのか検討が必要と考えます。

8年間の町政運営をどう評価するか



竹内 達朗
たけうち たつろう

町長 様々取り組みましたが、終わりはありません。

問 町の歴史に残る大きなプロジェクトに取り組み、災害や新型コロナウイルス感染症対策を経験しました。評価と残された課題は何か。

町長 新庁舎の建設、道の駅、佐久穂町交番の新設、能登半島地震被災地への人的支援などに携わることができました。USBメモリ紛失では深くお詫び申し上げます。情報セキュリティ運用について認識と実践が不十分だったことを痛感しました。防犯カメラなどで十分とは考えていません。

職員の任用と人材育成について

問 育成という点で非正規化については懸念がある。これ以上の非正規化を進めない考えは。

町長 民間ができることは民間に、の流れの中で一定の業務を委託しています。

総務課長 会計年度任用職員の待遇改善は年々進んでいます。正規職員の確保に努めながら、非正規職員の待遇改善にも可能な限り取り組んでまいります。

問 学校応援団への役場職員の参加を促す考えは。

教育長 キャリア教育は佐久穂教育の3本柱のひとつで、ふるさと学習として、職業体験や福祉体験等を重ね、ふるさとの発展と自分の生き方を結びつけた職業観の育成を図っています。

こども課長 学校応援団の登録者は減少しています。コロナ感染症での外出の自粛などが主な原因です。引き続き募集していきたいと思っています。

総務課長 業務に支障がなければ可能な範囲で有給休暇がとれる体制として考えています。

第2次総合計画などの進捗は

問 ふるさと納税、移住促進、農業政策、経済活動についてどう評価しているか。

町長 ふるさと納税の総合計画での目標は超えています。移住促進も目標をほぼ達成している状況です。関係人口の創出を目指して町人会「未来のふるさと」を立ち上げました。

産業振興課長 農地利用地域計画は4月以降、意欲的な地域を先行させる形で随時話し合いを開始したいと考えています。
総合政策課長 町人会の活動としては、10月にリンゴの葉摘み体験、3月25日には、料理教室と講演会を開催します。



町人会主催の料理教室

次世代への農地継承を 進めるには

佐々木 信幸
（ささき のぶゆき）



町長 地域全体で担い手農家を支えていきます。

問 耕作放棄地を増やさず次世代の農業の担い手に農地を継承していくことは重要だ。国の方針で農地利用地域計画作成中の今こそ、町長のリーダーシップで町民に呼びかけ農地継承の気運を高め、世代交代の風を起こしてほしいが。

町長 国の指針に沿って、地域全体で担い手農家を支えられるような施策を進めて参ります。

リーダーとしては学びを深め、人格を高めること、修身が大事だと思つて至っています。

問 集約化が進まない農地は、少量多品種で狭い農地でも収益を上げられる有機農業に活用するなど、慣行農業と共に有機農業にも力を入れるべきでは。農地の有効利用、また移住促進の政策を進めるためにも有機農業の振興は効果があると考えるが。

町長 国の「みどりの食糧システム戦略」では有機農業の農地の割合を25%にという目標を掲げています。しかし有機農業・慣行農業それぞれにメリット、デメリットがあり、数値目標に縛られず、それぞれの生産者の意向に沿った支援が必要だと思っています。

産業振興課長 資材高騰などで、有機農業でも少量多品種では収益が得られにくい状況と聞いています。ある程度の規模拡大は必要かと思ひます。有機野菜の担い手確保のさらなる拡充の可能性は、行政の思惑ばかりではなく、JAや生産者などが一体となった取り組みがないと、現時点では難しいと考えます。

問 新しく開校する茂来学園中高一貫校の進捗状況と、町の連携は。私学助成の考えは。
総務課長 校舎本体から独立し

た不要施設の撤去、カラマツや鉄平石など町産材の提供、アスベスト除去への補助金（国庫負担）などの支援をしています。また、ソフト面では県との調整などに関わり、令和8年4月の開校に向けて支援していきます。

町の魅力の一つになっていると認識しています。現段階で助成の予定はありませんが、台風等の気象状況や、町内の事件・事故等の情報共有は引き続きしていきます。

教育長 大日向小中学校は、佐久穂小中学校の教育と相まって



旧佐久西小学校

問 食育の観点から、少しづつでも良いので有機給食に取り組んでみてはどうか。
教育長 現在学校給食では、町内の事業者さんを中心に食材を購入しています。その中には有機農家さんもありますので、学校給食で使用するにより栽培の促進や自校給食の更なる特徴にもなると考えています。しかし、量に限りがあり導入が難しいのも事実です。食材については、慣行農業で栽培された野菜・有機野菜にこだわらず、地産地消の観点からできる限り地場産のものを使用していく考えです。

産業としての農業

今後の町の考えは

島崎 規子
（しまざき のりこ）



町長 自分は生きていないであろう未来のこの集落のことをぜひ考えて下さい。

荒廃農地の現状と農地利用地域計画の現状は

問 町内の水田畑地の総耕地面積と、荒廃状況は。

産業振興課長 令和2年の耕地面積は全体で1210haです。うち経営耕作面積は492haで、10年前に比べ182ha、率にして23%減少しています。これは、

全国や長野県平均を倍以上回っており、当町の荒廃化は大変著しい状況です。特に水田は41%減少しており、水田の荒廃化が高い状況が見取れます。直近の令和5年では、745haの遊休農地のうち再生不可能な農地が478ha（65%）となっており、山手の不整形で狭く、日当たりの悪い農地の荒廃が進む傾向がみられます。

問 令和7年度当初予算に計上されている農地整備事業の詳細は。

建設課長 かねてより酪農家の皆さんより飼料作物を耕作するための農地造成の要望をいただいております。令和5年度より検討を始め、荒廃農地を活用し酪農家の多い千代里地区に決定し、現在は、使用を希望する野菜農家の皆さんも加わり、区画の在り方、誰がどこを使うのかの協議をしていただいております。尚、1割の受益者負担を予定しています。

問 農地利用地域計画の進捗は。

産業振興課長 公告縦覧、意見聴取の期間が終わり、町内14地区の計画を3月末に告示予定です。今後、各地区の地域計画の話し合いの状況により見直しをして

まいります。現在4地区で話し合いが行われているところです。

問 帰化植物における町の方向性は。

産業振興課長 放置しておくことで周辺農地への害虫被害や野生動物の棲みかとなるなどの悪影響が発生します。農地所有者による草刈り等の適切な農地管理をお願いしたいところです。

住民税務課長 現在、町のホームページにおいて外来生物についてのページを設けております。それを基に「外来種の被害予防3原則」を住民の皆様にはお願いしているところです。



荒廃地のセイタカアワダチソウ



空き家の庭に広がるアシチウリ

問 町として農業の今後をどう考えるか。

町長 住民には、町に対していろいろな要求をする権利が当然あります。逆に、住民の皆様にも地域への義務と責任があるはずで、自分自身がここで生きていくために、自分はどうしたらよいのか。この地域をどうしたいのか。自分がもう生きていないであろう未来の、この集落のことをぜひ考えていただきたい。

中学校の合同部活動

問 令和6年度の活動状況はどうであったか。

教育長 4月からは8部活172名、指導者30名でスタート、3年生が抜けた11月の新人戦以降は9部活124人、指導者38名で活動しました。さらに4中学校で定期テストや行事等の調整や、5時間授業で切り上げるなどの工夫をし、平日の練習も5回行い、生徒にはとても好評でした。移動には町村所有のバス等を利用しました。

南佐久郡として取り組んでいる、町村を超えた活動は全国的にも余り例がなく注目を集めています。

視察の受け入れは11回で、遠くは岡山県や高知県、山形県等よりお越し頂きました。講演の依頼は8回あり、静岡県、北海道、岐阜県、広島県、香川県等で講演をしましたが、どこの地域でも大変に苦勞をされています。今後も生徒たちのために、南佐久の取組をより充実させ全国に向けて発信できればと考えています。

問 令和7年度以降はどのように展開していくのか。

教育長 今年度に引き続き、スポーツ庁の地域スポーツクラブ活動体制整備事業に応募します。具体的には、活動回数を年間24回から40回に増やす計画をしています。

スポーツ庁の地域スポーツ文化芸術創造と部活動改革についての実行会議では、令和7年度以降の次の6年間を新たな推

千ヶ日向総合グラウンド

附帯設備の改修は

高見澤 敏幸
（たかみざわ としゆき）



教育長 今後整備を進めていく計画となっています。

進期間として設けるということが示されています。

それらの動向にも注視、参考にしながら今後の取組を進めてまいります。

問 吹奏楽部の活動はどのように展開するのか。

教育長 吹奏楽部員の減少は南佐久4中学校で同じような傾向にあると認識していますが、合同での練習には楽器の移動等が必要になりますので、運動部以上に気を使う面があります。

音楽の先生からも、本当に困っているという話も届いておりますので、子どもたちがやりたい文化芸術活動ができるような環境づくりを検討します。

千ヶ日向総合グラウンド

問 トイレ・管理棟などの附帯設備を早急に改修するべきではないか。

教育長 トイレについては、改修整備の必要性を十分認識しておりますが、整備方針が具体的に決まっていないのが現状です。既に実施計画に登載されておりますので、今後整備を進めてまいります。整備方針が決まり次第、関連予算を計上します。

問 現在利用されていないテニスコートを有効的に活用するべきでは。

教育長 テニスコートは、国道上の案内看板もあわせて廃止の方で検討してまいります。体育施設条例の改定も行います。跡地利用については今後の課題となります。

議会4年間を振り返って

令和3年4月就任からの思いをお伝えします！

岡部 尚樹

この4年間私にとってとても大切な日々でした。はじめての体験が多岐にわたるいろいろなことをさせてもらいました。やはり人生一生勉強、その通りだと体験させてもらいました。それにまずは新しいことに挑戦するという事はとてもいい事だとおもいました。大変いい経験をさせていただきました。

須田 芳明

議員として1期4年間の務め、【みんなで創る 町づくりの実現】を目指してきました。議会の活性化では、報告会、意見交換会の企画、町民との意見交換会を実施し、自身の一般質問は16回、延べ162人の皆様に傍聴して頂きました。ご支援頂いた皆様に感謝すると共に、この活動が未来の力になればと思います。

高見澤 敏幸

議会内では総務文教常任委員長、議会運営委員、広報特別委員などを、また佐久環境衛生組合議会では下水道常任委員長として忙しくも充実した4年間でした。皆様の意見を聞きながら一般質問などに取り組めたことはとても良い経験だったと感じています。

竹内 達朗

この4年間は無我夢中でした。一般質問の大変さも実感しました。毎回、時間との闘いであり、もの足りなさを残す結果でした。それでも毎回質問に立てたことには安どしています。議会改革は、常に着実に取り組むべき課題だと考えています。

高見澤 利博

支持者の皆様に支えて頂き、一期4年無事に務めさせて頂きました。その間一般質問においては54項目について質問させて頂き、町政に改革・対策・要望等を訴えさせて頂きました。まだまだ課題は山積しております。今後も小さな声を形に変えて行ける取り組みをして参ります。

佐々木 信幸

議員初体験の4年間は、無我夢中で走り続けてきたという印象です。町の総合計画や資料を渡され説明を受けたときは、冷や汗が出ました。それまで仕事のことしか考えなかった自分が、町政に思いを巡らし頭を悩ませ一般質問などに取り組んだのは、得難い経験だったと感じています。

西部 元和

議会活動活性化の4年間でした。委員会構成再編、議会だよりの充実、議会活動の企画立案・運営、佐久穂小中学校との連携と、具体性をもって地道に働いた議会議員であったと自負しています。これも住民の皆さまをはじめ、各所関係の方々のおかげです。心より感謝いたします。

島崎 規子

2期目が終わり、この間ご支援くださいました皆様に心より感謝を申し上げます。議会改革の渦中であって充実した4年間でした。「チーム佐久穂議会」として活動を共にしていただいた議員の皆様と事務局職員の方々に御礼申し上げます。8年間議員として活動できたこと全てに感謝のみです。

石井 正行

この4年間、議長として責務を果たし、議論の円滑な進行と公正な運営に努めてまいりました。町民の皆様の声を尊重し、議会基本条例に基づき議会改革の実現に向けて尽力したことは、大変意義深い経験でした。多くの方々の支えに感謝し、今後も地域発展のために貢献してまいります。

出浦 修身

4年間は議長や議員各位と協力し、委員長として議員定数や報酬に結論をつけ、議会報告会や意見交換会など議会改革を一歩前進させました。政策提案出来る議会等、やり残したことは次期の皆さんで。個人的には全16回の一般質問をし、まちづくりに全力を尽くしました。

高橋 康徳

1. コロナ禍の中で始まった任期であり、リモート会議等を行っていた期間から、随分時間が経ったように感じます。
2. 時代の変遷についていくのが難しく感じ、柔軟性が持てず自身の考える理想と現実の乖離を感じた4年間でした。

高見澤 研二

数年前から自分の行動について、過去を振り返りそれを自ら評価する事はしないことにしています。過ぎ去ったことをあれこれ言っても仕方ありませんから。「今何をすべきか」に意識を集中して物事を行い、結果はすべて自己責任として受け入れる。これからもこうして生きていきます。

小宮山 雅則

議員3期目は、監査委員のほか経済福祉常任委員会、議会運営委員会、議会改革特別委員会、議会活性化特別委員会、道の駅特別委員会の委員となり、忙しくも充実した議員最後の4年間でした。その中で「開かれた議会」の取り組みとして議会報告会、町民との意見交換会や交流会など実施できたことが良かったと思っています。

高見澤 春野

4年前は、被災後、仮住まいからの出発でした。被災を経験し、防災・減災がいかに重要かを知りました。誰もが安心して暮らせるあたたかい町にと、活動をしてきました。議員の経験は長くても、この4年間は気付きの連続でした。多くの方に支えていただいたことに感謝申し上げます。



議会活動

1月24日(金)

初 小海町議会 合同研修会 (佐久穂町庁舎ほか)

はじめて隣の小海町議会との交流会・研修会を佐久穂町議会から呼びかけて実現しました。まず、道の駅八千穂高原で駅長などから概要を説明いただき、見学しました。続けて、改修が終了したばかりの奥村土牛記念美術館にて視察、その後、佐久穂町庁舎にもどり、公職選挙法についての合同研修会を行いました。



1月27日(月)

佐久市議会 合同研修会 (佐久市浅間会館)

毎年行われる佐久市議会との合同研修会は、今年度は佐久市に企画運営していただきました。佐久総合病院統括院長の渡辺仁氏をお迎えし、佐久の地域医療について講演していただきました。佐久総合病院の歴史から解説していただき、現状の課題を踏まえた今後の佐久地域の医療体制についてお話を聞くことができました。



2月9日(日)

What's 地方議会? (茂来館小会議室)

初めて、議会活性化特別委員会の独自企画として実施しました。小学生2人、中学生7人、高校生3人、おとな5人と参加者は多世代におよびました。クイズを活用しながら佐久穂町議会のこと、参政権のことを知ってもらえるようにしました。参加した選挙権を得たばかりの18歳の高校生は「町議会が身近な存在になるよい機会だった」と感想を語ってくれました。その後、おとなの参加者と当日参加した議員による座談会が行われ、佐久穂町議会に対する素朴な質問が出され、議会活動についての意見交換が行われました。



投票日が来たぞ! 【問題】 選挙権が与えられる字などのあめ区別がつきにくい場合は、その投票はどのように取り扱いますか? 	選挙が近いぞ! 【問題】 佐久市の選挙区はスターの幾何形はどれかあるでしょうか?
議会の仕事が始まるぞ! 【問題】 本会議では、一般的に委員会の報告、質疑、討論を経て、議決をします。このうち討論は何をすることでしょうか? 	新しい議会が始まったぞ! 【問題】 改選後、初めての本会議において、議事を進める前に決定することがあります。それは何でしょうか?

■経済福祉常任委員会

条例案2件・令和6年度補正予算案5件・令和7年度当初予算案7件が付託され、全案件を全員賛成で原案通り、可決すべきものと決しました。

建設課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 余地川の浚渫工事をやるような話だったが、その後は。

答 余地川や千曲川については、県による施行になります。再三、お願いはしており、今年度も要望はしてまいりましたが、県では予算措置中や、河川の状況などで優先順位があり、進まない状況です。

○令和7年度佐久穂町一般会計予算

問 木造住宅耐震診断事業での補助金と改修補助金はどの位か。

答 診断事業の補助金は88万円で、改修補助金は単価物価上昇により100万円から115万円になっております。

問 道の駅が大盛況なのは喜ばしいが、道路や駐車場が大変混雑をしていると苦情が上がっている。把握しているか。

答 町としても、指定管理者と共に考えています。まずは年間を通じてデータを集め、それにより駐車場増設か、臨時駐車場を確保するべきなのか等々を検討して参ります。

問 柳沢・馬越・蛇石地区の荒廃農地造成事業の面積と予算は。

答 予定面積はおおよそ10haで、予算は測量・設計費も含めおおむね4500万円を見込んでいます。



農地造成予定地の一部

産業振興課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 農業次世代人材投資事業補助金500万円が減額になっているが、利用者が無かったのか。

答 この補助金を利用できるのは新規就農者のみで、新規就農1年目と2年目が対象になっております。今回は対象者がおりませんでしたので減額になりました。

問 酪農で3年間就農体験を試みて来た人がいたのに、なぜ辞めてしまったのか理由を把握しているのか。

答 本人も酪農を継続して行きたいと願っていたのですが、町内の酪農家の皆さんは後継者がおり、受け入れるところが無かったためです。

問 有害鳥獣報償金の状況はどの位か、佐久穂町内捕獲頭数は。

答 最新の買上報告では1100頭ぐらいの捕獲頭数です。なお、佐久穂町内の捕獲でないと買上はしておりません。

○令和7年度佐久穂町一般会計予算

問 凍霜害を防ぐために、燃料以外にハウスなどの施設の要望があれば補助対象になるのか。

答 現時点では難しいです。燃焼方法が一番効果があると言われております。また、防霜ファンであれば一本立てるのに200万円はかかるので、複数の生産者がまとまることで、国の補助が受けられる可能性があります。

問 ビジターセンターの運営を民間に委託しているが、今後、観光協会の業務をどうするのか。

答 セールスプロモーション的なところを民間事業者に関わっていただく中で、今後、観光協会として担うべき業務を協会内で議論を深めていただきたいと思います。

健康福祉課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 障害福祉サービス給付費が2080万円の増額と大きな補正になっているが、詳しい説明を。

答 毎月の支払いも大きいのですが、令和6年度の報酬改定により不足が見込まれるためです。

問 結婚新生活支援事業が60万円も減額になっているが、実績はどうなのか。

答 0件でした。夫婦の合計所得が500万円未満等の条件があり、使い勝手が悪いのかと思われる。

問 条件を緩和して使いやすくすることはできないか。

答 国の補助金ですので、それについては検討が必要かと思えます。

○令和6年度佐久穂町介護保険特別会計補正予算

問 包括的支援事業費が16万3000円減額になっている訳は。

答 事業内容は認知症の初期支援委託になります。これは、医療にも介護にもつながっていない人のための支援ですが、他のサービスでカバーできていて対象になる方がいなかったためです。



千曲病院

○令和6年度佐久穂町病院事業会計補正予算

問 委託費に画像読影費用増とあるが、これは何を委託しているのか。

答 MRI・CTの画像の分析などです。

○令和7年度佐久穂町病院事業会計予算

問 今年度予算では医業収益が減って、介護収益などで補填しているように見えるが。

答 医業収益は増えています。今年度は昨年よりも現実的な予算組をして規模が小さくなったために、予算額が減っているということです。

問 地域を意識したサプライチェーン（地産地消）とあるが、何処と契約をしているのか。

答 お米は、JA佐久浅間から佐久穂産を購入しております。野菜は町内のお店からできるだけ購入しており、消耗品も同様に心がけています。

老人保健施設

○佐久穂町老人保健施設条例の一部を改正する条例の制定について

問 老人保健施設の訪問リハビリテーションを廃止するとあるが利用者が居ないということなのか。

答 専門職員の退職で、人員の確保ができず、外に出て行う事業が非常に困難になってしまいました。また、千曲病院など、他でも訪問リハビリテーションを実施しているため、老人保健施設での利用希望も少なくなってきました。

問 老健から自宅へ戻った人へのケアは大事だと思うが。

答 職員不足の現状では、手を広げず入所者・通所者への対応に力を注ぎたいと考えています。

○令和7年度佐久穂町老人保健施設特別会計予算

問 時間外手当が、昨年よりも増えているが理由は。

答 今年から、職員が勉強会に参加した時も休日出勤をした時と同様に一律に支払うようにしたためです。

委員会活動から ～委員会審査～

総務文教常任委員会

条例案9件、令和6年度補正予算案4件、令和7年度予算案4件、その他案1件が付託され、全案件を全員賛成で原案通り可決すべきものと決しました。陳情1件については賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

総務課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 非常備消防費で手当てが500万円の減額になっている。最近、山林火災が多く、広報や啓発が必要になっているのでは。

答 火災・水防関係の出動日数が少なかったため減額となっています。大船渡の火災に続いて上田市で火災が発生、3月で火災予防期間中であり、生放送でインパクトを与えてきました。ご提案を参考に火災に備えていきたいと思います。

○令和7年度佐久穂町一般会計予算

問 消防団員の退職報償金が計上されているが、何名の退団者を見込んでいるのか。

答 昨年並みの27名を見込みました。新入団員の確保が難しくなっています。

問 非常備消防予算でLED投光器の購入台数と配置予定は。

答 本部に1台、各分団に2台ずつの15台です。背負式の軽量タイプを予定しています。

こども課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 特別支援学級について、どの部屋を充てるのか。

答 小学校棟の2階にある教室を充てる予定です。

○令和7年度佐久穂町一般会計予算

問 各保育園に臨時保育士と保育補助員の予算があるが、違いは何か。

答 保育士は有資格者となりますが、補助員は無資格者の雇用で資格がなくてもできる作業をしていただきます。

問 今度、小中学校でリースするのはタブレットなのか。

答 タブレットを予定しています。なお、5年前は、各市町村に端末の機種の設定は任されていました。今回は長野県の行う共同調達とし、補助金を活用する予定です。

問 小・中学校通信ネットワーク速度改善工事により、十分に改善は見込まれるのか。

答 アセスメント調査の改善提案書に基づき改修工事を行いますので、改善を見込んでおります。

住民税務課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 人権同和对策費で報酬等が減額になっているがその理由は。

答 部落差別撤廃人権擁護審議会報酬15名分を予定しましたが、審議会を開催する重要事項の諮問がなかったため審議会が開催されなかったことによります。

○令和7年度佐久穂町一般会計予算

問 塵芥処理事業でごみ袋の製作費が増額となっているが、販売価格も上がるのか。

答 販売価格は据え置きとします。15年以上変更せずに据え置いてきましたが、物価高騰等の中でそろそろ限界には近づいています。

総合政策課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 地方創生臨時交付金が減額となっている。他の事業に充てられないのか。

答 昨年の物価高騰対策給付金のうち、定額減税分の確定による1121万円の減額と、今年度のこども加算分の事務費1万4千円追加です。使用目的が決まっていますので他の事業には充てられません。

○令和7年度佐久穂町一般会計予算

問 デジタル田園都市国家構想交付金事業の内容は。

答 佐久穂町の主要事業のカラマツについて、継続的な事業、新しい6次産業化を検討しています。令和7年度は現状調査したものを事業化する年となります。

問 新年度で縮小・取りやめた事業はあるのか。

答 地域プロジェクトマネージャー、同窓会補助金、総合政策課の地域おこし協力隊などになります。

問 広報さくほ記事作成事業での委託内容は。

答 最終面「きわめびと」の1ページの取材執筆編集を委託します。

生涯学習課

○令和6年度佐久穂町一般会計補正予算

問 奥村土牛記念美術館の電気料減額の理由は。

答 基本料金が上昇しないよう、効率的に使用した結果です。

○令和7年度佐久穂町一般会計予算

問 元気になる公園で測量設計監理委託料だけが計上されているが、工事は行わないのか。

答 工事は令和8年度に実施予定です。開園から32年が経過し、高圧ケーブル等の交換が急務であることから、テニスコート照明のLED化工事を含んだ低圧への切り替え工事を実施予定です。多額の工事費になるため、令和7年度は国の補助金を充てるよう申請に必要な資料の作成のために設計監理委託料を計上しました。

問 メリアホールの移動観覧席修繕費で4年計画の3年目との説明であったが、年度ごとの修理内容は。

答 1年目は、シーケンサーユニットの交換、2年目は、ドライブリンクの交換、3年目（令和7年度）は、観覧席の床照明のLED化、4年目は、稼働椅子駆動モーターの更新などとなります。



あなたの声を聞かせて！

広報特別委員会では、議会改革の活動の一環として議会だよりにハガキを添付することにしました。町民の皆さまと一緒に佐久穂町議会をつくっていくため、ご意見やご要望をお寄せいただきたいと思います。切り取ってそのまま投函できますので、ぜひご利用ください。

また、従来どおり、議会事務局（0267-86-2556）へお電話いただくか、Eメール（gikai@town.sakuho.nagano.jp）でもご意見・ご要望を受け付けております。町民交流会の依頼などお気軽にお問い合わせください。

ご意見・ご要望を
自由にご記入ください。

キリキリ

議会だよりへ掲載許可

議会だよりに掲載してもかまいません Yes・No
（無記名で掲載しますが、掲載にあたっては許可を頂く関係から氏名・連絡先を御記入ください）

氏名	差出人（必須ではありません）
連絡先	年代
Eメール	

個人情報の取り扱い：ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、それ以外の用途には利用いたしません。

